

近すぎませんか？

Too Close to Bears?

50m

以上の距離をとりましょう

知床国立公園での、ヒグマへの
著しい接近・近距離でのつきまとい・餌やりは
禁止です。

知床国立公園の特別地域、集団施設地区内において、みだりにヒグマに対して餌を与えること、著しく接近すること、つきまとうことが規制対象となりました。中止指示に従わなければ、30万円以下の罰金が科される場合があります。

もっと
知りたい方は
こちらへ



規制対象と
なった行為*



野生動物への
著しい接近
つきまとい



野生動物への
餌やり

*ヒグマに限らず、野生動物（鳥類又は哺乳類）に対する同様の行為は、規制対象になる可能性があります。
ただし、行政機関等が事業として行う希少種保全のための給餌など、社会通念上、正当な理由がある場合には規制対象とはなりません。

ヒグマとの距離を50メートル未満に保ち、 つきまとうことは禁止されています

岩尾別川の事例

道路際で川と垂直に立った場合、川の対岸までが50m以内の範囲となります。川の中にあるヒグマを観察するために道路上に留まることは「つきまとい」行為になります。



道路脇から50mの目安

クルマで クマに出会ったら



KEEP DISTANCE



STAY IN THE CAR



CLOSE THE WINDOW



DRIVE BY SLOWLY

50メートルのおおよその目安

目測の方法 乗用車10台分の距離が大体50メートルの目安です。



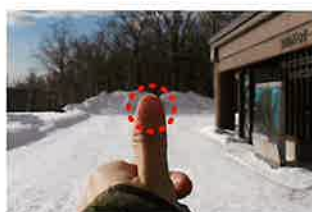
手で測る方法



メス成獣サイズのヒグマ（模型）



ヒグマに向かって水平に腕を伸ばして親指を立てます。



親指の爪でヒグマが隠れるくらいの距離が大体50メートルとなります。

本来ヒグマは人を警戒して近づこうとはしませんが、人による過度な接近や餌やり等を繰り返すことにより、人を恐れない“人なれ”ヒグマへと変わってしまいます。

人なれしたヒグマは、自ら人や車両に近づいたり、人の荷物を物色したりするようになり、人身事故が起きる可能性が高まるため、「問題グマ」と判断されます。そして、人間への危害を及ぼすおそれが高い場合には、やむなく捕殺されます。

【知床のひぐま】
知床国立公園を訪れる方へ・ソーセージの悲しい最後 ▶

エサやりがクマを殺す。

クマにエサをやらないうで、クマに近づかないで。

いちど人の食べ物の味を覚えると、人から食べ物を奪おうとしたり、車や家屋の中に侵入するようになり、あなたの後から来る観光客や地元住民を危険にさらすこととなります。そんなクマは殺さなければならぬこともあります。

人とクマが安全に共存できる環境づくりを目指しています。